

廃石膏ボードから再生された石膏粉以下、再生石膏粉というの有効利用については、これまで中性固化材の主材や、セメントおよび石灰系固化材の助剤として、また、改質材として主に土木用資材としての利用が期待されてきたが、強度が期待できないことや環境安全性の懸念からその利用が促進されている状況にはなかった。しかし、環境安全性については2019年5月に(国研)国立環境研究所から発刊された「再生石膏粉の有効利用ガイドライン」に基づいた品質管理を徹底

一方、(一社)泥土リサイクル協会(愛知県稲沢市、☎0587-23・2713)では、10年以上前から浚渫土砂の有効利用事業において、改良土を土壤材料として利用するための固化材選定について、石灰系固化材に加えて再生石膏粉を主材とした改良を提案してきた。

こうした中、農林水産省の20年度官民連携新技術研究開発事業において、同協会会員企

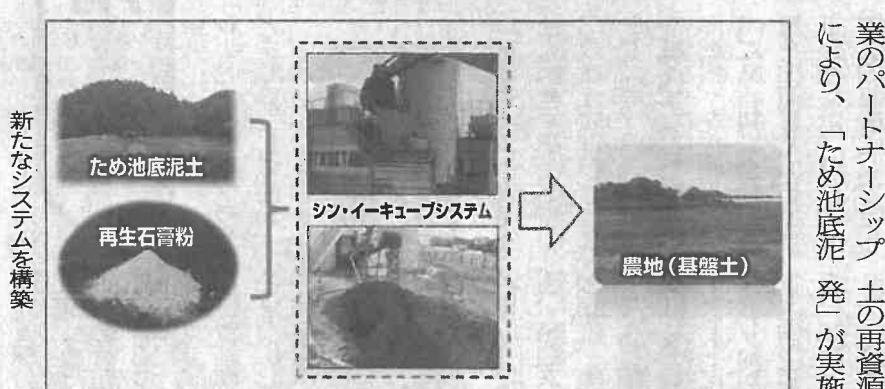
ることで確保できること、また、利用用途によつては強度への期待が要求されないものである。

一方、(一社)泥土リサイクル協会(愛知県稲沢市、☎0587-23・2713)では、10年以上前から浚渫土砂の有効利用事業において、改良土を土壤材料として利用するための固化材選定について、石灰系固化材に加えて再生石膏粉を主材とした改良を提案してきた。

再生石膏粉の利用拡大に向けて

飛島建設／アイコ／泥土リサイクル協会

ため池・ダム湖底泥土の再資源化技術の開発



業のパートナーシップにより、「ため池底泥発」が実施され、農業分野(土木用資材、農地)に適した物

果報告書が取りまとめられた。

一般的に高含水比泥に改質するための改質材および処理性状の改質材おもに改質材はセメントや石灰に代表されるアシストの高カリ性のものが主流であるが、今回は底泥

を添加した。この技術開発においては、同協会会員である建設業、中間処理業者、材料メーカー、機械メーカー、コンサルタント等の方々がパートナーシップを組むこと

で、短期間で新技術開発することに鑑みて、土木用改質土は締固めやすい地盤材料にすが開発され、SDGs

とし、この取り組みが達成された。同協会は再生石膏粉の利用拡大に

向けて、農業分野のみならず金属工業分野等に対してもアプローチしていくとい

うことが求められる。この相反する要求に対し、一つの処



業のパートナーシップにより、「ため池底泥発」が実施され、農業分野(土木用資材、農地)に適した物

果報告書が取りまとめられた。

一般的に高含水比泥に改質するための改質材および処理性状の改質材おもに改質材はセメントや石灰に代表されるアシストの高カリ性のものが主流であるが、今回は底泥

を添加した。この技術開発においては、同協会会員である建設業、中間処理業者、材料メーカー、機械メーカー、コンサルタント等の方々がパートナーシップを組むこと

で、短期間で新技術開発することに鑑みて、土木用改質土は締固めやすい地盤材料にすが開発され、SDGs

とし、この取り組みが達成された。同協会は再生石膏粉の利用拡大に

向けて、農業分野のみならず金属工業分野等に対してもアプローチしていくとい

うことが求められる。この相反する要求に対し、一つの処